

≫カセットボンベ・スプレー缶の事故にご注意を！！

スプレー缶製品は、日常生活のさまざまなところで使用されていますが、スプレー缶に充填されている噴射ガスの多くには、LPガスやジメチルエーテルなどの可燃性ガスが用いられています。



容器に、（例）「**火気厳禁 第一石油類**

危険等級II」などの表示がある物は、火気の近くで使用したり、高温になる場所に放置することは絶対にやめましょう！

平成30年12月には北海道札幌市、令和元年7月には大阪府高槻市でスプレー缶のガスによる爆発火災事故が発生しており、それ以外にも類似の事案が各地で発生しています。

≪カセットボンベ・スプレー缶の火災・事故を防ぐために≫

以下のことを参考にスプレー缶の正しい取扱方法を確認し、事故を未然に防ぎましょう。

使用の際の注意

- ・使用前に必ず製品に記載されている**注意書きを確認**する。
- ・**本来の用途以外に使用しない**。
- ・高温となる場所や、直射日光と湿気を避けて**適切に保管**する。
- ・厨房器具や暖房器具等の**火気付近では使用しない**。
- ・カセットボンベは、カセットこんろ**本体に正しく装着**されていることを確認してから使用する。
- ・カセットこんろを複数並べて鉄板をのせたり、こんろより大きな鍋等を使用するなど、**カセットボンベカバーを覆うような使い方**は、ボンベが過熱され**破裂する危険があるので絶対に行わない**。

廃棄の際の注意

- ・中身を使い切ってから廃棄する。使い切れずに廃棄する際は、中身を出し切ってください。
- ・中身を出し切る（ガス抜き）ときは、屋外の風通しの良い場所で、付属のガス抜きキャップ等を使用しましょう。
- ・ガス抜きキャップがない場合は、スプレーボタンを押すなどして完全に出し切りましょう。

※廃棄の際、穴をあけるかどうかは、各自治体で異なりますので、自治体ごとの収集ルールをご確認ください。

日常生活に数多く使用されている可燃性ガス等を含むスプレー缶（例）

- ・カセットボンベ
- ・制汗スプレー
- ・殺虫スプレー
- ・ヘアスプレー
- ・パーツクリーナー
- ・防水スプレー
- ・冷却スプレーなど



- ・ [スプレー缶等の内容物について](#) : PDF 1,922KB
- ・ [スプレー缶等の廃棄について（一般社団法人 日本エアゾール協会提供）](#) : PDF 542KB
- ・ [安全で正しい使い方（一般社団法人 日本エアゾール協会提供）](#)
- ・ [スプレー缶の事故（独立行政法人 製品評価技術基盤機構）](#)

「スプレー缶による事故事例」

管内の事例

① 令和4年5月29日

使用済みの制汗スプレー缶を廃棄処分するため、手動のドリルを使用しガス抜きを行おうと穴を開ける際に、発生した火花がスプレー缶の残留ガス（LPG等）に引火し爆発、負傷した

② 令和4年7月10日

玄関土間で自動車部品を分解作業中、パーツクリーナーで油分の除去後ガスバーナーで炙ろうとした際に、付近に滞留していたパーツクリーナーのガス（LPG等）に引火し、負傷した

③ 令和4年9月2日

台所シンク内でパーツクリーナーを使用してスマートフォンのカバーを洗浄していたところ、別の家人が隣で食事準備をしようとカセットコンロを点火した際に、シンク付近に滞留していたパーツクリーナーのガス（LPG等）に引火し爆発、負傷した

札幌市内の事例

平成30年12月16日夜、北海道札幌市内の雑居ビルでスプレー缶の廃棄中に42人が重軽傷を負う爆発事故が発生した。消臭スプレーを廃棄するため、室内で100本以上のスプレー缶のガスを噴出し、その後湯沸かし器をつけたところ突然爆発した。

高槻市内の事例

令和元年7月6日夜、大阪府高槻市内の産業廃棄物収集運搬会社でスプレー缶の廃棄中に4人が死傷する爆発事故が発生した。スプレー缶を廃棄するため、敷地内倉庫で数百本以上のスプレー缶にハンマーで穴をあけ、ガスを噴出させた際に爆発した。

全国的な事例

- ・ガスファンヒーターを使用中、温風出口付近にスプレー缶を置いていたため、スプレー缶が過熱され破裂して火災が発生し負傷した。
- ・台所で消臭スプレーのガス抜きをしたところ、ガスコンロの火が引火して指から肘まで火傷した。
- ・シュレッダーにエアダスターを吹き付けたところ、含まれていた可燃性ガスが当該製品内部に滞留し、スイッチ等の電装部の火花が可燃性ガスに引火し、爆発を伴う火災が発生し負傷した。
- ・殺虫剤を台所で使ったところコンロの火に燃え移り顔と腕に火傷をした。
- ・中身の残ったスプレー缶やカセットボンベがそのままごみに出され、ごみ収集車や、ごみ処理施設で火災が発生した。